

Weekly コラム

平成 27 年 8 月 18 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

老化は治療できる

人類は古来より不老不死を探求してきました。そして、どうすれば人は死なないのかが今もなお研究されています。医療技術が進んでいく中、人の寿命は延び日本人ですと弥生時代で 30 歳、江戸時代で 45 歳、昭和 22 年で 52 歳、平成 23 年で 83 歳と徐々に延びています。では今後、いったいどこまで延びていくのでしょうか。

ケンブリッジ大学研究員であるオリーブ・デグレイ博士は、老化は治療可能な病だと言っています。博士は「老化は生涯を通して身体全体の細胞レベルで蓄積するダメージであり、もし細胞を修復し続けることができれば、人は永遠に生き続けることができる」と主張しているのです。博士によりますと、人間に寿命を与えるダメージは 7 種類しかなく、①再生不可能な細胞(脳や心臓など)が死ぬ、②正常に細胞分裂できず癌化する、③ミトコンドリア DNA が劣化する、④細胞内にごみが溜まる、⑤細胞同士の結びつき(架橋結合)が変化する、⑥細胞外間隙にごみが溜まる、⑦死んだ細胞が毒素を出す、だそうです。老化を治療する研究は世界中で進められており、博士の予想では 150 歳まで生きる人間は既にこの世に出生しており、1000 歳まで生きる人間も今後出てくるそうです。

また、アメリカの企業シエラサイエンス社では寿命 150 歳を目指して、開発中の「老化治療剤」を来年に試験生産することを明らかにしました。人は細胞分裂する際にテロメアと呼ばれるものを消費し、テロメアが短くなり過ぎると、新しい細胞を作ることができず人は死を迎えます。シエラサイエンス社は「テロメラーゼ」というテロメアを調整できる酵素を発見しました。このテロメラーゼを用いて老化を治療することができるのではないかと期待されています。同社 CEO のビル・アンドリュー博士も「テロメアの長さが長くなれば、老化が中断されるどころか、再び 20 代の青年のように活力あふれる状態になる」と主張しています。

老化を治療する研究は多方面でなされており、私達は本当に 150 歳を迎えることができるかもしれません。年をとって身体が動かないのに長生きしても仕方が無いという考えがありますが、老化を治療することができれば健康な身体のまま長生きできます。退職後も第二、第三の人生を楽しむことができ、120 歳でもゴルフや旅行を楽しんでいるかもしれません。今後の研究の進展に期待が寄せられます。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、yasukouchi@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。